



にじいろ通信 No.37

発行:社会福祉法人健翔会 にじいろ
 所在:埼玉県行田市忍 1-11-1
 TEL:048-598-5252 FAX:048-501-6031
 責任者:にじいろ管理者 齋藤真知子
 MAIL:nijiiro@kenshokai.net

「にじいろ」は児童福祉法により、通学している障害児に対し放課後等に日中活動を提供する健翔会の第3号事業所です。

新型コロナウイルスに負けるな!! よく食べ、よく寝て、よく動く!!

にじいろのご利用について 定員10名 早めに声を掛けてください!

「子どもの仕事は遊ぶこと」

児童発達支援管理責任者 齋藤真知子

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、一足早く学校が休校になり、にじいろでは朝から子ども達の声でにぎやかな3月になりました。また不要不急の外出は避けるよう言われています。1日の活動に工夫を凝らして何とか皆のやりたい気持をかなえられるような活動を提供したいと思って毎日過ごしていますが、有り余ったエネルギーを吐き出すためには、やっぱり運動や感覚遊びが1番です。公園や畑に行ったり、土手を散歩するだけでも嬉しくて、走り回り、草取りも、取った量やスピードを競う遊びとして行うことが出来ました。外に出れば広い空間だけで体を使った運動遊びを発見します。体を使うことで、体の動かし方を知り、ボディイメージを獲得します。土手の坂を上ったり下りたりすることも良い



学校が休校になり、飽きてしまったのではないかと理事長が心配して、白菜の収穫の手伝いをしないかと声をかけてくれました。



3/12.17 部屋に閉じこもってなんかいられないんです。飛んで跳ねて動きたいのです。今日もふわふわドームで飛び跳ね放題です。

刺激を受けている様子でした。また、ブロックを積み上げてバランスを見ながら手加減を覚え、ブロックを足したり、ひいたり、落としながら仕組みを体で覚えます。何度も繰り返し納得いくまで同じプロセスを楽しみます。次第にうまくなっていくから不思議。机上の課題など、強制されて行くことが続くと嫌になっちゃう気持ちが想像できます。ドカーンと破裂してしまわないためには、自発的な行動で発散することだと思います。

運動や感覚遊びの中には様々なルールも生まれ、心も、体も、コミュニケーション力も成長させてくれるものと実感しています。子ども達から発案したごっこ遊びや運動遊び、感覚遊びはとても楽しそう、集中しています。『自分で試して体で覚えるから「身につく」道理。』この1文が書いてある本を読んだ時にはそうだよーと納得しました。にじいろは、子ども達の遊びにいてねいに付き合い一緒に楽しめます。スタッフと安心できる関係の中で成長して行ってほしいと願っています。



3/13 理科実験で「カラフルカルメ焼き」を作りました。好きな色のザラメを溶かしてうまく膨らむような混ぜ方がコツです。サクサクのカルメ焼きが出来ました。



ジャガイモを植えに来ました。ジャガイモを切って灰をつけて植えます。



ジャガイモを同じ間隔に置いて、優しく土のお布団をかけました。



ジャガイモを植えた後は、土手で遊んじやおう♪菜の花が出迎えてくれました。

- ★4月のにじいろ 1日:健翔会通所セレモニー 17日:レクレーション「穴あきクイズ」
 18日:にじいろクラブ「秩父鉄道電車の旅」24日:段ボールオリンピック第3弾 ホッケー
 29日:理科実験「手作りモーターを作って遊ぼう」
- ★にじいろで欲しいもの タブレット プラレール ぶら下がり健康器 レゴブロック アイロンビーズ
- ★ありがとうございました 永沼様:本 齋藤様:お菓子